



日野療護園  
フォーシーズンズ

東京都  
社会福祉  
事業団



# Four Seasons

No.80

2018年5月28日 春号

発行/編集：日野療護園 〒191-0034 日野市藤川245-1 Tel 042-593-2421 Fax 042-593-0075 E-mail hinoryo@hinoryo.org HP http://www.hinoryo.org

## やまなかえんちようあいさつ 山中園長挨拶

日頃より、日野療護園に対して、ご利用者の皆さまをはじめ、ご家族・関係者の皆さまのご理解・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

私自身、昨年度の1年間を振り返ってみますと、直面する園運営上の様々な課題に戸惑うことも多く、その日その日の対応に追われる毎日であったと感じております。しかし、職員一人ひとり、それぞれが持てる力を出し合いながら、ご利用者の皆さま一人ひとりに寄り添った支援を日々行ってきたと思っています。

そして、今年度も新たに日野療護園での活躍を志す新規の職員が配属されました。新規の職員については、まだまだご利用者の皆さまとの関係作りや、介護技術の習得など未熟なことも多く、ご利用者の皆さまにはご不便・ご迷惑をおかけすることも多いことと思っておりますが、これからの日野療護園を支えていくことのできる素晴らしい職員（人材）であると確信しています。ご利用者の皆さまをはじめ、関係者の皆さまの温かいご支援（支え）をいただければ幸いです。

最後に、今年度の園運営にあたり、日野療護園の運営理念の具現化に向けた取組みとともに、①安全・安心な利用者支援体制の構築、②職員のワークライフバランスと風通しの良い職場づくりを基本的なコンセプトに据えた取組みを進めていきたいと考えています。

ご利用者の皆さまが、健康で日々の生活で笑顔に満ちたものになることを願い、職員が一丸となって頑張っていきたいと思っておりますので、皆さまのご指導・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



日野療護園 園長 山中

## 支援・管理部門長兼管理グループリーダー 師岡



支援・管理部門長 兼管理  
グループリーダー 師岡

今年度、管理グループリーダーを兼務します、部門長の師岡と申します。今年の春の茶話会は、温かい気温の中、満開の桜の元で開催することができ、利用者の皆様も喜んでいらっしゃいました。

さて、日野療護園は、事業団の自主運営移行第1号施設として、平成27年4月に新たに歩み始めましたが、早くも4年目を迎えます。管理部門として、今後も計画的且つ効果的な経営努力を積み重ね、更に安定的な運営が図れるよう取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。

はぎわら しん じぎょうすいしん あいさつ  
**萩原 “新” 事業推進グループリーダー挨拶**

新緑のまぶしい季節となりました。皆さまこんにちは。この度、事業推進グループリーダーに就任しました、萩原由紀と申します。

日野療護園での業務は今年で5年目を迎えます。新たな業務を行うたびに、園の新しい一面、ご利用者様について知らなかった事を知ることができ、たくさんの学びを得ながら日々業務を行っております。

今年度は、日中活動や短期入所を中心に業務を行う事となりました。

共に過ごす職員やご利用者様に声をかけていただき、支えられて過しておりますが、できるだけ早く業務に慣れて、グループリーダーとしてしっかり業務を行えるよう努めて参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



しぎょうすいしん  
 事業推進グループリーダー  
 はぎわら  
 萩原

いしかわ しん ふくし だい あいさつ  
**石川 “新” 福祉サービス第1グループリーダー挨拶**



ふくし  
 福祉サービス  
 だい  
 第1グループリーダー石川

この度、福祉サービス第1グループリーダーに就任いたしました石川です。日野療護園での勤務は7年目です。最初の3年間は福祉サービス第2グループで介助員を、その後の3年間は第2グループリーダーを務めさせて頂きました。

新しい仲間を迎えて、1か月が過ぎました。経験・未経験に関係なく、真摯な態度で丁寧な介助をされる姿を拝見し、何度も自分の襟を正しました。また、既存の職員が悩み考え提案してくれる事から多くを学ばせて頂いています。これまでも、また今年もこのような素晴らしいメンバーと一緒に働く事ができることを大変嬉しく思います。

今、日野療護園は大きな転換期にあり、課題も抱えています。このメンバーで良い支援ができないはずがない、と私は確信しています。職員の皆さんと共に、力を合わせて利用者支援に邁進する所存です。どうぞ宜しくお願いいたします。

みやうち しん ふくし だい あいさつ  
**宮内 “新” 福祉サービス第2グループリーダー挨拶**

今年度より、福祉サービス第2グループリーダーを務めさせていただきます宮内亜希子です。昨年度は第1グループでグループリーダーとしての一年間務めさせて頂きました。グループリーダーの業務を覚えることに必死で、利用者様・ご家族様への配慮が行き届かなかったことが多々あったと思いますが、温かく見守り、支えてくださったことに感謝いたします。日野療護園に来てから、所属は第1グループでしたが、この一年で、現場で働いていた時とはまた違う形で利用者様・職員を知ることができ、自分の視野・考え方も広がりました。今年度からは第2グループの所属になり、より広く利用者様・職員を知る機会に恵まれたことを嬉しく思います。

石川グループリーダーと協力し、全利用者様・ご家族様・職員のお役にたてるように、精進していきたいと思っております。今年度もよろしくお願いいたします。



ふくし  
 福祉サービス  
 だい  
 第2グループリーダー 宮内



## 平成30年度日野療護園運営方針の紹介

### 日野療護園運営理念

「運営理念」の実現（理念の具現化）に向け、利用者本位のサービスの徹底、地域に貢献できるサービス提供にまい進していきます。併せて、自主運営施設としての経営感覚を持って、安定的な園運営の構築に向けて取り組みます。

全職員が、相互に協力しながら、園運営体制を支え合うことで、日野療護園で働くことに誇りを持てる職場の風土作りを進めていきます。

### ～日野療護園運営理念～

1. 一人ひとりが自分らしい人生を送ることができる支援をします。
1. 一人ひとりの信頼と絆を大事にした支援をします。
1. 地域の誰にでも、いつでも、どこでも、いつまでもお役にたてる支援をします。
1. 地域とのつながりを持ち、地域に貢献する支援をします。
1. 明るい笑顔を大切に、心のこもった温かい支援をします。
1. 豊かな感性を持ち、自覚と責任のある支援をします。

### 平成30年度の運営方針

利用者が基本的な人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、安全・安心で質の高いサービスを提供します。また、人材確保・育成の強化、創意工夫や業務の見直しによる、効率的・弾力的なサービス提供に努めていきます。

この為、以下の5つの方針により施設運営を行います。

#### 1 利用者本位のサービスの徹底

- (1) 利用者本位のサービスの徹底に向けて、利用者一人ひとりに向き合い、その方らしく生き生きとした生活が送れるよう、個性や主体性を尊重するサービスを提供します。また、ニーズを丁寧に把握した上で個別支援計画を作成し、安心した生活や社会参加に結びつく支援を行います。
- (2) 福祉サービス第三者評価の受審、利用者満足度調査、苦情相談における第三者委員の活用などにより、客観的な視点から検証と評価を重ね、サービス改善の取組を進めるとともに、より開かれた施設運営に努めます。



## 2 公的な役割の継承

最重度障害者や重複障害者等特別な支援が必要な利用者を積極的に受け入れ、在宅で暮らす障害者等のセーフティネットとしての役割の推進等、重度の障害がある方でも、その人らしい（希望する）生活ができるよう取り組みます。

また、高齢化・重度化・虚弱化に伴い、嘱託医や関係医療機関との連携を強化するとともに、研修の受講により、たんの吸引等を行う生活支援員の資格者の育成とその実施に努めます。

## 3 人材確保・育成の充実強化

質の高いサービスを安定的に提供するため、OJTを人材育成の基本と位置づけ、これまで培ってきた支援ノウハウを継承するとともに、能力・職責に応じた研修計画に基づき、安全・安心を基本とした、質の高い支援技術（スキル）と専門性を兼ね備えた職員の育成を図ります。また、職員一人ひとりの自己肯定感を高め、活力溢れる人材育成・定着、職員間の連携とフォローアップ体制を確立し、全職員が一体となる組織風土を醸成していきます。

さらに、安定した自主運営体制の構築に向け、次世代を担うチームリーダーの人材育成を進めていきます。

## 4 運営体制の強化

利用者の権利擁護を推進し、虐待等不適切な支援の防止に向けた取組の強化を図るとともに、利用者の安全・安心な生活の構築に向け、リスクマネジメント、感染症予防の強化、防災訓練の定期的な実施、情報セキュリティ対策等の徹底を図ります。また、業務の見直し等による効率的な施設運営、経営目標指標に基づく執行管理等により、安定的・自立的な施設経営を進めていきます。

## 5 地域との連携の強化

地域の多様な主体と連携し、利用者の地域生活移行への取組をはじめ、社会参加や地域社会との交流を図り、開かれた施設運営を行います。

また地域の福祉資源として地域社会のニーズに積極的に対応し、地域で生活する障害者を支えていくことを推進します。

(記:支援・管理部門長兼管理グループリーダー 師岡)



3月28日、春のお茶会

3月28日、園の桜も満開で、天気にも恵まれた中で今年（ことし）は春のお茶会を開催いたしました。園庭にある桜もいつもは建物の中から見ていることが多いですが、暖かな日差しの下で風を感じながら眺める事が出来ました。

例年、お茶を飲みながらゲームなどをして楽しんでいましたが、今年は「桜」「春」と季節を感じて欲しいと思い、みんなで桜を描いてみました。幹が描かれている模造紙に一人ずつ手形、スタンプを押していただき、（いろいろな形の）花が満開になりました。

（記：福祉サービス第2グループ 秋山）



新規・転入職員紹介

満開の桜の下、今年（ことし）は管理グループに男性1名・女性1名、事業推進グループに女性4名、福祉サービスグループに女性9名・男性3名、合計18名の新しい職員を迎えました。

経験者も未経験の方も、皆さんすぐに現場に馴染み、元気いっぱい活躍しています！！

春からまた新たなスタートを切った日野療護園をどうぞよろしくお願い致します。

（記：福祉サービス第1グループリーダー 石川）



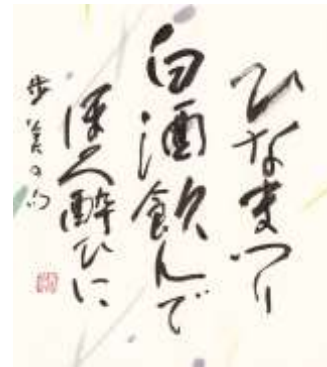




香の 仕草に和み  
風は春  
洋子の句

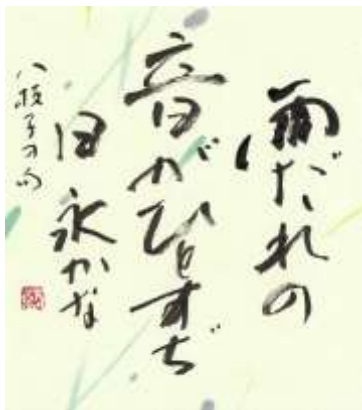


車椅子 春のいぶきに  
つつまれて  
博吉の句

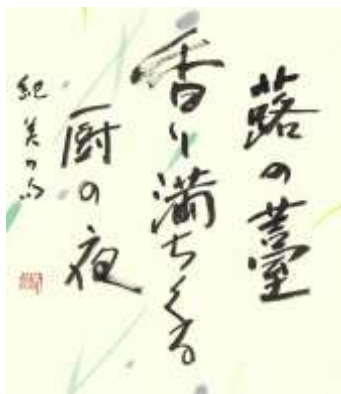


ひなまつり 白酒飲んで  
ぼろ酔いに  
歩美の句

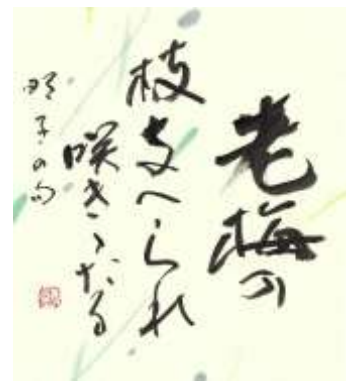
俳句 (木の実の会)



雨だれの 音がひとすぢ  
日永かな  
八枝子の句



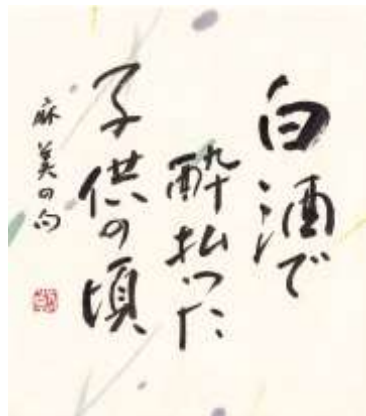
路の臺 香り満ちくる  
厨の夜  
紀美の句



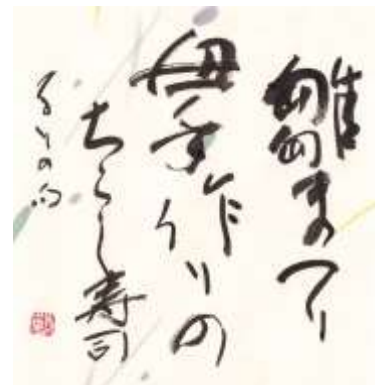
老梅の 枝支えられ  
咲きゝたる  
明子の句



大つらら 悼辞は  
雫となりけりに  
美智子の句



白酒で 酔払った  
子供の頃  
麻美の句



雛まつり 母手作りの  
ちらし寿司  
るりの句

へん 編 集 後 記

川沿いのベンチに座って Bee Gees の『First of May』(若葉のころ)を聴きながら…  
思うような自分になれない弱い自分があるのに、知らないうちに時が過ぎ去ってしまうことへの感傷を抱きながら、新しい気持ちで物事に取り組むことができそうな、初夏の心地よい風を感じるこの季節が好きです。

(記：山中)